


被災地にお裁縫セットを送ろう!



被災キルトにご協力いただいた方々に感謝の意をこめて、ご報告させていただきます。
お陰様で少しずつ輪が広がり、協力してくださる方が増えてきました。
今回で3回目のお針セットを被災された方々にお送りすることが出来ました。



被災キルトのお手伝いをするようになって私自身が悲しみや喜び、時には励まされたり、元気をもらったり、使命感を持続できる少しの体力と、お役に立てる喜びを感じて、生かされていると言う実感を持つ日々を過ごさせて頂いております。

何か出来る人が、出来る範囲で一生懸命やるしかない、今必要なのは、生きるための、望みではないかと、そして誰かが応援しているよと言う、メッセージを送り続けたいと思っています。

災害は悲しい事ですが、一方家族や友人との繋がりを深め、自分自身の生活を見直し、どう生きるべきかを考えさせてくれるチャンスにもなっていると思えます。

大きな復興は国や自治体に任せるしかありませんが、被災された方々が1日も早く、ごく普通の生活に戻れるようにお手伝いをする事は私にも出来ると考え、裁縫セットづくりを手伝わせて頂いています。

一人ひとりが元気にならなくては、先に進めません

お裁縫箱セットの活動は大災害の後の復興には小さな力かもしれませんが、不安な日々を送る方々の手元に届き皆が心配し応援しているよと言う気持ちを届けて、一瞬の笑顔のきっかけになればと願っています。

全てを波にさらわれ、何から何まで支援物資に頼らざるを得ない方たちはやむなく大きなシャツはテープで止めて使っているそうです。

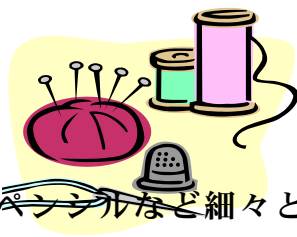
小さなお裁縫箱が一つ有ることで、どんなにか、心が安らぐでしょう、皆様の被災された方々への温かい思いやりをしっかりと受け止めて、私一人ではなかなか、前に進めませんが、後押しをしてくださる方のお心を大事にお裁縫箱に詰めて喜んで頂けるようなセットに作り上げようと思います。

皆様に協力して頂いたお針箱で、何人の方の笑顔が取り戻せるでしょう
たくさんの方々が協力して下さいました。

お裁縫セットを作る



お裁縫箱の準備編



お裁縫セットを作るには、ハサミ・針山・糸・針・指貫・チャコペンシルなど細々とした道具が沢山必要になります。

お裁縫道具がこんなに沢山集まりました。

ご協力頂いた全ての方々に心からお礼を申し上げます。

お裁縫道具の仕分け



種類別に分けていきます。

- ・ 鋏 裁ち鋏・中鋏・小鋏・糸きり鋏と四段階に分けます。
- ・ 針 大中小・待針
- ・ 糸 しつけ糸・白黒・色糸・ミシン糸（大小）・刺繍糸・その他
- ・ 針山 大中小
- ・ ゴム ゴム・ゴム通し
- ・ その他 チャコペンシル・巻尺・定規・三角定規・目打ち・ミニ裁縫セット

鋏の準備



鋏は先ず錆を落として

裁鋏は少々錆びていても切れ味は抜群



熱中症予防に水分を補給して

錆び取りが終わるとお化粧をして、お嫁入りの支度です。



針山を作ります。

前回はつるし雛を作られる方が可愛いミニ針山を沢山作って下さいました。

今回は普通サイズの針山とミニ針山を作って下さった方が何人かいらして、色とりどりで、どれも素敵です。

今回の針山



皆様から頂いたり大小の針山、大小有ると、とても可愛くて便利です。足りない分は真似をして作ってみました。



土台はペットボトルの蓋です。

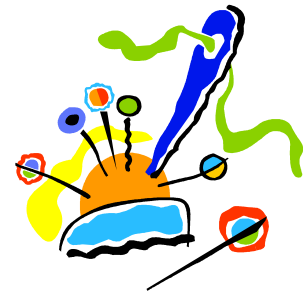
これに小さな針坊主を作りペットボトルの中に入れました。

針坊主の中の綿は弟の庭で出来た綿の実です。

脱脂していないので、針山には最適ですが、種が多くて種抜きが大変なのでミニ針山に使用しました。



針 大中小・待針を針山にセットしていきます。



付属品の準備

指貫・糸通し



指貫と糸通しなど小物は見失いがちですので、入れ物をつくり一緒に入れました。

左側のミニバッグには指貫と糸通し 右側は金物の指貫と皮の指貫2つ、いと通しを入れキルト用にセットしています。



糸の準備

前回は糸が足りなくて、補充していましたが皆様のお陰で今回はこんなに沢山の色糸が集まりました。

糸は種類別に分けていきます。



仕付け糸は一束を4つに分けて20組作りしました。糸を入れる箱を作りました。

糸入れに変身した歯磨きの箱・絵の具の箱などなどチョットだけオシャレに



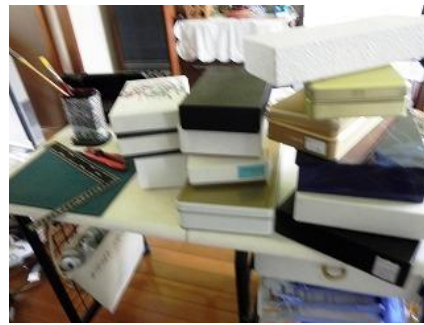
“ゴムひも”も小分けにして20個作りしました。
全て20個揃えるのは難しいので、小分けに出来るものは分割して



ゴム通し・チャコペンシル・ヘラ・定規・巻尺・目打ち
これらの付属品も20個全て揃えるのは難しいので
補充してバランスよく詰め合わせました。

箱作り

下準備が終わると、裁縫道具を入れる箱作りがはじまります。



一人の方がこんなに沢山 箱を集めてくださいました。
箱作りは楽しい作業です。

まず、受け取ってくださる方の年齢を考慮しつつ、喜んでくださるお顔も想像しつつ
サイズや材質が違うそれぞれの既製の箱一つ一つに少し手を加えて変身させました！

切手を準備します。



使用済みの外国切手を封筒から剥します。 乾かしています。

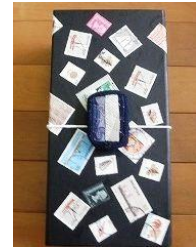
切手を貼りました。



箱に合わせてセットしていきました。



貼りすぎました。



切手以外は雑誌の切り抜き・古い美術書の切り抜き・手当たり次第に切り取って貼り付けました。

大小様々な箱と様々な裁縫道具を箱の大きさに合わせてセットしていく作業は大変ですが一番楽しみでもあります。

全ての箱にメッセージカードを入れさせていただきました。

和風



それぞれに帯をつけ、開かないように工夫しました。



洋風



小振りな箱なのでお針箱として仕上げました。
 鋏（大小）糸類（白黒・仕付け糸・色糸）
 針山（大小）針・待針 指貫 針通しなど
 お裁縫道具としての最低限の品はセットして
 通常のお裁縫に使って頂けるように



裁縫箱



学校の教材の裁縫箱などを今回は4箱提供して頂きました。ありがとうございました。
 不足している道具類は補充して綺麗に磨いてお輿入れです。



皆様のご協力で20個のお裁縫箱が出来上がりました。
それぞれに協力いただいた方の思いを込めてメッセージをいれさせて頂いています。
7月25日に発送いたしました。
毛糸や編み針・着物生地など宅配便扱いのギリギリのサイズで2箱になりました。

今回は京都の染色家齊藤洋様のご紹介で岩手県の“たいまぐら”安部智穂様に直接送ることが出来ました。

*これからもお針箱づくりは続けていきますので
どうか皆様のご協力を引き続きお願い申し上げます。

1 安部智穂さまからのメールの一部を添付させていただきます。

茶色の文字は辻畑からの皆様へのお願い文です。

ご支援のお話、大変ありがたく、ぜひお願いしたいと思います。
お裁縫セット、裁ちばさみ、編み針、編み棒、そして毛糸は、
私の方が責任をもって被災された方にお届けさせて頂きたいと
思います。
どうぞよろしく申し上げます。

お針箱ですが、
齊藤さんに送られた・・・というセット、使いやすそうです。
同様のスタイルでセットしていただければ、
すぐにでもお届けできてありがたいです。
どうぞよろしく申し上げます。

「これから一年は、田老、そして大槌に月に2回のペースで出かける予定です。
その都度、新しい方が参加下さるので、言ってみれば、今後一年間は、お針箱の支援を募
集したいと思っています。
一度に沢山よりも、コツコツとコンスタントにお届けいただけると、私としてもとても助
かります。」

そうそう、できましたら指ぬきを入れていただくと、
年配の方はとても喜ばれます。

今回は全てのセットに指貫を入れるように致しました。



冬にむけて、ちゃんちゃんこを手作りしようという計画が持ち上がっています。
中につめる新しい綿などももし、お集めいただけるようでしたら是非お願いします。

皆さんが今回の災害を我がこととして受けとめ、
こうして支援の手を差し延べて下さることに感謝しております。

ちゃんちゃんこのことを、田老地区では袖なしとよんでいます。
私自身も愛用しているのですが、暖かく、でも働きやすく、重宝な一枚です。
布は、できれば反物が一番なのです。
けれどなかなか必要な量集まらないので、普通の広幅の布で作ったりしています。
もし反物があるようでしたら、ご寄付いただけたらとても喜ばれるかと思えます。

ご家庭でご不用のお裁縫セット、裁ちばさみ、編み針、編み棒
毛糸・ちゃんちゃんこ用の布地や綿などが御座いましたらご協力をお願い致します。

被災キルトについて詳細はインターネットの環境が整っている方は下記の
ブログに詳しく掲載されていますので、ご覧いただくと様子が分かります。

<http://blog.canpan.info/shamurie/>

齋藤 洋 風工房 phone・fax 075-762-0500

606-8321京都市左京区岡崎東福ノ川町24

今回も皆様のご協力により、20個のお裁縫箱が出来上がり
被災地の必要とされているところに、お届けする事が出来ます。
心優しい皆様のお心を詰め込んだお針セットで、単調な仮説住宅での暮らしに
暖簾などで、変化をつけて少しでも生活に花が添えられることを願っています。
ありがとうございました。

まだまだ、お裁縫セットが不足しています。

ご家族の方やご近所の方やお友達にお声掛けして頂き、多くの被災された方
のお手元に届くように努力して行きたいと思っています。

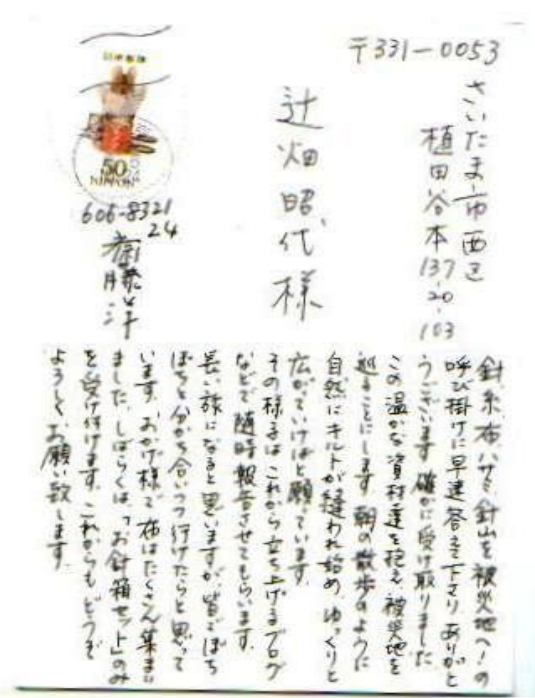
今後ともよろしく願いいたします。

〒331-0053

さいたま市西区植田谷本 137-20-103

辻畑 昭代 tel & fax 048-622-4559 e-メール x.sujerta12@coral.plala.or.jp

京都の齊藤様より被災キルトの協力によるお礼状が届きました。
それぞれにご協力いただいた方々に改めてお礼を申し上げます。



宮古恵風支援学校での野染 2010/9/6
6月7日から8日まで若手の三船海岸を中心に行ってきました。
メンバーは京都の心元龍二、後田孝夫、斎藤洋、東京から澤根樹・胡見の計4名、花巻の知人・小嶋幸を拠点として船橋所(平田・大橋)、仮設住宅(廣舟)、支援学校(奥仙光陸・釜石祥雲・宮古恵風)、共同作業所(大橋わらび学園、保真園(飯前高田、瓜野町)、奥仙沼のプレイパークなどを訪れました。皆さまから送ってくださったお針箱、約420セット、布12箱をそれぞれの人たちに受け取っていただきました。お針箱、釜石、宮古の支援学校と大橋の避難所で受け取った。避難所にいた方たちも徐々に仮設住宅に入り始め、新たな生活がスタートしつつありますが、目の前には壊滅的な風景があり、ほとんどの人たちが身近な存在を失い、将来の展望も見えてこない中で疲労の極みの中で暮らしているように見えます。場所によっては、仮設の周りには買い物する場所も、病院もバス停もないところがあります。そんな環境で、なおかつ人間味のない画一的なプレハブに入り定着していくためにはならぬこれからは、ますます新しい生活になっていくと、容易に想像できます。仮設には駄駄屋があります。そこでみんなで集まりテイクアウトしながら話す時間があればどんなにか気持ちの通い合えれるのではと思います。お針箱を受け取った時の嬉しそうな皆さんのお顔を忘れられる事ができません。被災ない問題を自分らしく生きて少しでも豊かな生活を取り戻してはほしいです。



釜石と大船渡の間にある小さな集落・廣舟の仮設住宅で、6/9
9月には大船渡の支援学校をはじめ釜石、大橋、田老町、などでの野染の計画も予定しています。お針箱はとりあえず7月末まで受け付けます。(釜石/バサミが不足しています) そのあとは様子を見てまた再開するかもしれません。よろしくお願ひいたします。
2011年7月10日 風工房・斎藤 洋 075-762-0500

